



自立に向かうまちづくり その成果は

長年懸案であった本郷保育園の改築がおこなわれました。

歳入のうち、町税は、前年より3800万円の減。主な要因は償却資産(固定資産税)の減等によるものです。

また三位一体改革等による税源移譲額は16年度新たに3000万円の増額となりましたが、地方交付税は1億7100万円減の18億5300万円、地方債は大型事業の影響から3億6000万円増となる10億1300万円の歳入額となり、総額では1億1500万円、1.5%の増額となりました。

歳出面では通常事業における、人件費・物件費などは経費の削減により、大幅な減額となりました。一方普通建設費では、大型事業の実施から5億4000万円、公債費は本郷保育園建設等の借入れなどから2億2700万円の増となりました。

また、将来の財源の蓄えにあたる基金への積立金は、取り崩し額を最小限に抑えたため、新たな積立金はありませんでした。

平成16年度 一般会計主要施策の事業

(単位:万円)

○ 境デイサービスセンター建設事業	2億3,000
○ 本郷保育園建設事業	1億9,600
○ 医療費給付事業	5,700
○ 生きがい生活支援事業	2,400
○ 富士見小耐震化工事等	1億2,000
○ 図書館運営事業	3,800
○ 町史編さん事業	760
○ 中山間地域等直接支払事業	9,700
○ 有害鳥獣駆除対策事業	360
○ 観光施設整備、宣伝事業	4,700
○ 地域交通システム事業「すずらん号」の運行	1,600
○ 下水道施設整備事業(負担金)	6億7,000
○ 道路、河川の整備	2億4,000
○ 都市計画道路の整備	1億8,000
○ ごみ、し尿の収集処理事業(負担金等)	4億1,000
○ 消防、防災対策(広域連合負担、消防団)	2億7,000



社会福祉の拠点とされる境デイサービスセンター